



<0歳から100歳の方まで、みんなが先生です！>

目が輝いていたあの頃に...



「村の奥に何かあるんですか？子供が大勢いますね」とは最近、村に荷物の搬入に見えた方からの質問です。ふれあいの村は、東京ドームの約一、五倍の広さです。村の中では草や虫を追いかけたり、野外炊事、キャンプファイヤーとさまざまな事が行われています。皆さんも足柄ふれあいの村を訪れて、不思議なことを見つけてみませんか。

今、ふれあいの村では...

ふれあい広場に舞うカラスアゲハを見つけた職員は、ネムノキの上空に来たら撮影しよう、根気よく待ち構えていたそうです。ご覧の通りの素敵な写真が撮れました。「自然のたより」『5月号で花』を、『6月号では若い果実』をご紹介します。ハナイカダは『熟した果実』に変わっています。この実の多くは、これが好物の虫？鳥？に食べられて、痕跡だけが残っています。

ヨウシュヤマゴボウの数か月後の姿も楽しみです。



ヨウシュヤマゴボウ



ハイクダ



カラスアゲハ

足柄自然観察会 8月7日 10:00~12:00

テーマ：蝉しぐれ。セミの抜け殻さがし
水辺のトンボ、クズに集まる昆虫

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催
※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村 (南足柄市広町 1507)
指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ
所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013
URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>

白い花。ヤブミョウガ

半日陰の林の中などの場所を好み、地下から茎を伸ばし繁殖するので、群落を作っていることが多い。花の時期をずらしながら、花茎に近い部分から順番に咲いていくようです。右側の写真の一番下、ツククサの花によく似ています。それもそのはず、ツククサ科に属する植物です。



名前の由来は、ミョウガの葉に似ているから とか



一番下の花に注目を

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

自然の生活とは？

野外活動中の子供たちが、地面を歩くセミの幼虫を見つけたと知らせてくれました。幼虫が殻から抜け出し、たたんであった緑がかかった半透明の羽を少しずつ広げていく姿に目を輝かせていました。その後も時間をおいて記録を続け、羽化が完了するまでを見届けることが出来ました。

いろいろな種類のセミがありますが、抜け殻の違いは何でしょうか？観察してみましょう。



ツククボウシ (抜け殻)



エゾハルゼミ (抜け殻)



ニイニゼミ (抜け殻)



アブラゼミ (抜け殻)



ヒグラシ (抜け殻)



ヒグラシの羽化① (14:41)



ヒグラシの羽化② (15:29)



ヒグラシの羽化③ (17:30)